

作物栽培管理情報

令和7年11月号

大分県中部振興局 生産流通部 集落営農・水田畑地化班

大豆 収穫時のポイント

◎汚損粒対策

大豆は規格外になると、数量払の対象になりません。規格外の原因の一つは汚損粒です。汚損粒は、収穫時の土や雑草等による汚れが原因になります。次の4つのポイントを徹底し、丁寧な収穫作業を心がけてください。

①収穫前に青立ち株や雑草の抜き取りの徹底

ヒユやホオズキ等の雑草や青立ち株は、汚損粒の原因になります。収穫前に必ず手取り除草を行い、ほ場の外へ持ち出してください。



ホオズキ

②大豆の収穫適期～手で折るとポキッと折れる状態～

収穫適期の目安は、茎が灰黒色になり、莢を振るとカラカラと音が鳴り、地際部の茎が手でポキッと折れる時期です。そのときの茎水分は50%以下、子実水分18%以下となっています。収穫時期が早いと茎汁等による汚損粒や損傷粒が発生するので注意してください。

③収穫は露がない時間に！

前日が雨の場合は収穫を控えましょう。朝露や夜露は汚損粒の原因となります。露のない11時～16時に収穫しましょう。

④土の掻き込みに注意

土の掻き込みは汚損粒を発生させます。刈取り高さの目安10cm以上を必ず守ってください。土を掻き込んだ場合には、すぐに清掃してください。

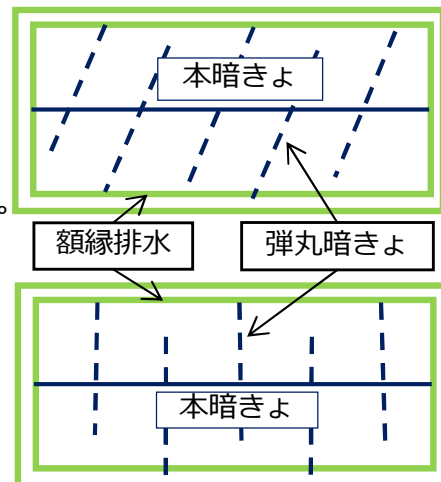
麦 ほ場準備

◎排水対策 排水不良による湿害は、収量低下の要因になります。適期作業を行うためにも、排水対策を徹底してください！

弾丸暗きよ 約5mおきに深さ30cmで施工し、排水を改善します。また、弾丸暗きよを額縁排水溝につなぐことで排水効果が高まります。

額縁排水 圃場の額縁に溝を施行することで表面排水が良好になります。排水溝は水の落とし口に必ずつないでください。

◎播種直前に耕起 耕起後すぐに降雨があると圃場が乾きにくく播種適期を逃します。適期播種のため、播種直前に耕起しましょう。



◎種子消毒～斑葉病と黒穂病の防除～ 斑葉病、裸黒穂病は種子伝染性病害です。斑葉病では株の枯死、裸黒穂病は品質・収量低下をまねきますので、必ず種子消毒を行いましょう。

麦種	薬剤	適用病害虫名	使用量
大麦・裸麦	トリフミン水和剤	網斑病、斑葉病、裸黒穂病、なまぐさ黒穂病	乾燥種子重量の 1kg当たり5g
小麦	ベンレートTコート	斑葉病、条斑病、裸黒穂病、なまぐさ黒穂病	

※ラベル等をよく読んで使用しましょう

裏面へ

◎土づくり 酸度矯正 ～土壌診断で適切なpHに矯正～

麦は酸性土壌では、生育不良や黄化症状が発生しやすく収量が低下します。

最適なpH6.0～6.5にするために土壌診断を行い、苦土石灰等の土壌改良材を施用して適切な酸度矯正を行ってください。

《粘質～壤質土壌の資材施用量（10aあたり）目標pH:6.0～6.5》

資材名	土壌のpH		
	<4.5	<5.0	<5.5
苦土石灰	240 kg	140 kg	70 kg

※土壌診断により石灰質資材の投入量が300kg/10a以上になった場合は、数年に分けて施用しましょう。

◎施肥 《施肥基準（10aあたり）》

	基肥		分げつ肥	穂肥
	化成肥料 14+14+14	麦一発エムコート 556	化学肥料16-0-16	
ハルアカネ		45		
チクゴイズミ	40		15	15

◎播種 麦の最適播種時期は11月中下旬（11月20～25日）です。収量確保のため適期播種に努めましょう。播種の深さは3cm程度が基本です。

極端な早播きは茎立ちが早くなるため凍霜害を受けやすく、小麦の萎縮病や二条大麦の縞萎縮病のウイルス病発生も助長します。遅播きは穂数が確保しにくくなり、収量の低下につながります。

播種期別の播種量（kg/10a）

	条播（ドリル播）
適期播 (11/15～25)	6～8
晩播 (12月上旬)	8～10

◎雑草対策 ～播種直後と生育期の体系防除～

雑草対策は初期除草剤、生育期除草剤、土入れの体系防除を徹底しましょう。

薬剤名	使用時期	10aあたり使用量		使用方法
		薬量	希釈水量	
ラウンドアップ マックスロード	耕起前または播種前まで (雑草生育期)	200 ～ 500 mL	50 ～ 100 L	雑草茎葉散布
リベレーターG (粒)	播種後～麦2葉期 (雑草発生前～ イネ科雑草1葉期まで)	4～5 kg ※砂土での使用はさける	—	全面土壌散布
リベレーター フロアブル	播種後～麦3葉期 (雑草発生前～ イネ科雑草1葉期まで)	60 ～ 80 mL ※麦に対して白斑症状を引き起こす場合があります	100 L	雑草茎葉散布 または 全面土壌散布

農業情報メール配信の登録募集！

～米・麦・大豆の栽培管理情報をいち早くキャッチしよう！～

★ 登録方法 ★

配信受付（スマート申請システム）

<https://ttzk.graffer.jp/pref-oita/smart-apply/surveys-alias/nougyouzyouhou>

上記のアドレスまたはQRコードからアクセスし、メールアドレス等の必要事項を入力してください。後日、農業情報をメール配信します。

